

ami

第24回全国大会 @online 11/26(金)・27(土)

つながリモート
～あなたのまちとあみライン～



2021
11/26・27
@online

VOL.24

主催：特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会

第24回 全国大会 開催にあたって

あみでは結成時の1997年から毎年、全国大会を行っています。1年に1度、全国の人たちが集まり、ネットワークの推進、各地域における支援の質の向上とその普遍化を目指しています。

昨年夏に予定をしていた福島県での全国大会は、新型コロナウイルスの蔓延により、やむなく中止となりました。

第24回目の全国大会は初のオンラインで実施されます。テーマは「つながリモート～あなたのまちとあみライン」です。今日の世界中を震撼させている新型コロナウイルスの蔓延により、これまで私たちの日常にあった、当たり前の生活や、「人與人」とのつながりが、形を変え、難しくなっているように思います。とりわけ、社会福祉の場を生業とする私たちにとって、つながりがなくなることは、業務自体の体系を変え大変な混乱を招いています。しかしながら、もう一度、「人與人」とがつながる喜びや安らぎ、大切さなどをこの大会を通じて考えたいとの想いを、実行委員で会議を重ね決定しました。

そして大会企画では、つながりをキーワードに、障害の有無、疾病の有無、全国各地の場所を越えて「人與人」とがつながりあえる、オンラインならではの企画を沢山盛り込んでいます。

また、日本中を悲しみに包んだ、東日本大震災から10年が過ぎました。この10年間で私たちは、多くの事を学んだ一方、忘れつつあります。前回、幻に終わった福島大会の想いも含めて、皆様がもう一度、復興に対する思いや、また、被災された方々の思いを考えられる時間を設けたいと思っています。

大会に参加する皆様が、つながり合い、気づき合い、学び合い、そして混沌とした世の中から、光り輝く「つながり」が生まれる大会にしたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしております。

大会概要

テーマ：つながリモート～あなたのまちとあみライン～

日程：2021年11月26日（金） 13：00～17：30
：2021年11月27日（土） 9：30～16：45

開催方法：オンラインでの開催

参加費：① 会員・賛助会員 3,000円

② 一般 4,000円

③ 当事者・家族・学生 1,000円

※ 11月26日（金）18：00～20：00の活動交流会参加費は無料です。

詳しくはP6をご覧ください。

参加申込受付：2021年9月20日（月）～11月12日（金）

問い合わせ先

◆第24回全国大会実行委員会事務局

（NPO）あおば福祉会 マカナ 担当：佐藤（対応日時／平日 10：00～16：00）

〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-9 伊藤ビル3階

TEL：03-6279-9579 FAX：03-6279-9578

E-mail：ami.taikai2021@gmail.com

◆（NPO）全国精神障害者地域生活支援協議会：あみ事務局

〒167-0032 東京都杉並区天沼2-3-9 伊藤ビル2階

TEL：03-6383-5673 FAX：03-6383-5674

E-mail：info@ami.or.jp

1 日目 / 11 月 26 日 (金)

受付開始 / 12:30～

開会式 / 13:00～13:30 (30分)

基調報告 / 13:30～13:45 (15分)

報告者：内山 澄子／あみ副代表（社福）のうえい舎／千葉県習志野市

あみが現在取り組んでいる施策提案や活動状況を報告します

行政報告 / 13:45～14:30 (45分)

報告者：金川 洋輔 氏／厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課
障害福祉専門官（精神）地域移行支援専門官

昨今の障害福祉施策を通し、我が国における精神保健福祉の動向についてお話いただきます

休憩 / 14:30～14:45 (15分)

震災企画 / 14:45～17:30 (165分) ※途中休憩あり

「私たちの『復興』を考える」～東日本大震災からの 10 年～

昨年、東日本大震災から 10 年という節目に企画されたあみ全国大会福島大会は、新型コロナウイルス感染拡大により残念ながら幻に終わりました。この度のオンライン全国大会では福島から宮城・岩手を加えた東北 3 県に範囲を広げ、各県の支援の現場からの声をお届けします。第 1 部では福島大会で御登壇の予定だった大和田新さんに御講演頂きます。

ラジオ福島のアナウンサーだった大和田さんは震災当日、夜通し寄せられるメールを通じ県民と対話し、実況放送を続けました。現在はフリーとなり震災と原発事故の現在を国内外に発信されています。

第 2 部のパネルディスカッションでは地震、津波そして原発事故によって被災した各県の作業所やその地域での、それぞれの 10 年を語っていただきます。そして、それぞれの思う「復興」とはどのようなものなのかを伺っていききたいと思います。

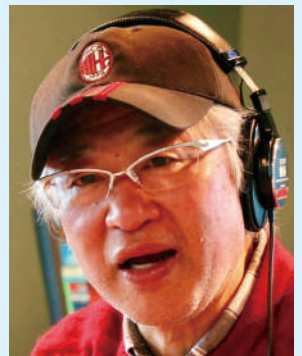
本企画を通じ、改めて大規模な災害と私たちの支援について考えたいと思います。

第 1 部／講演「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ」～私にとっての「復興」とは～

登壇者：大和田 新 氏 フリーアナウンサー（元ラジオ福島アナウンサー）

司 会：齋藤 大輝（NPO）みらい 相談支援事業所みらい／栃木県野木町

◎登壇者プロフィール／大和田 新（おおわだ あらた）氏：神奈川県横須賀市出身。1955年3月生まれ、66歳。昭和52年中央大学法学部政治学科卒。同年株式会社ラジオ福島にアナウンサーとして入社。役員待遇編成局専任長を経て2015年3月、28年間務めたラジオ福島を退社。同年、株式会社O.A企画を立ち上げ、現在はフリーアナウンサーとしてラジオ、講演会などで活躍中。2011年3月に発生した「東日本大震災」では、12時間マイクの前に立ち情報を伝えるとともに、県民を励まし続けた。東日本大震災から5年3ヶ月をまとめた著書「大和田ノート」（2016年8月出版）は、全国の地方新聞社が主催する「第七回ふるさと自費出版大賞」で優秀賞を受賞した。また、2020年11月、「続・大和田ノート」を出版。担当ラジオ番組「大和田新のラヂオ長屋」（毎週日曜日・午前10時30分～午後1時）。ラヂオ長屋は、2021年10月から放送21年目に入る長寿番組。



第 2 部／パネルディスカッション「事業所と支援の 10 年」～「復興」って何だろう～

パネリスト：桝澤 洋光 氏（NPO）つくし会 つくし共同作業所／岩手県釜石市

：渡部 裕一 氏 みやぎ心のケアセンター／宮城県仙台市

：橋本 由利子 氏（NPO）コーヒータイム／福島県浪江町

：大和田 新 氏

司 会：小池 秀明／あみ理事（社福）ブローニユの森 多機能型事業所さの／栃木県佐野市

活動交流会 / 18:00～20:00（受付開始：17:45～）

「2021 今宵 つながリモート～あなたとみんなとあみライン～」

詳しくは P 6 を
ご覧ください！

選択プログラムⅠ(以下3つの中から一つを選択) 受付開始:分科会A・Bは9:00～、特別講座は9:30～

詳細は
P4～5
を参照
下さい

- ① 特別講座(第1部) / 10:00～11:30(90分)
「これだけは押さえない統合失調症の症状と障害」
- ② 分科会A / 9:30～11:30(120分)
「集まれ孤独な新人たち」～ZOOMでつくろう全国の同期～
- ③ 分科会B / 9:30～11:30(120分)
「みんなで学ぶ相談支援 in オンライン」～“ソウゾウ”から実践に繋いでいこう!!～

お昼休憩 / 11:30～12:30(60分)

選択プログラムⅡ(以下3つの中から一つ選択) 受付開始: 全て12:00～

詳細は
P4～5
を参照
下さい

- ④ 特別講座(第2部) / 12:30～14:00(90分)
「これだけは押さえない薬物療法と副作用」
- ⑤ 分科会C / 12:30～14:00(90分)
「グループホームとは!? オンラインで振り返る」～語り合って学ぼう!! 住まいのアレコレ～
- ⑥ 分科会D / 12:30～14:00(90分)
「ピアサポーター最前線」～ピアの力! 面白おかしく聞いてみた～

休憩 / 14:00～14:15(15分)

記念講演 / 14:15～15:45(90分)

「みんなで考える つながること、支え合うこと、自分らしく生きること」

登壇者: 渡辺 一史氏 ノンフィクションライター/北海道札幌市

司会: 杉江 由香氏 (社福)マインドはちおうじメゾンコム/東京都八王子市

この1～2年は、人と人が直接会うこと、集うことが制限されたなかで、私たちの活動も変化を余儀なくされることが多かったのではないのでしょうか。社会に目を転じてみても、命を守る行動と行動を制限することの狭間で、様々な議論が飛び交っています。

そんな今だからこそ、改めて自分たちの活動や思いを問い直し、みんなで考えてみませんか?

20年近く障害・福祉分野の取材をされてきたノンフィクションライターの渡辺一史さんをお招きしてお話を伺います。

2003年に発表された『こんな夜更けにバナナかよ』(北海道新聞社、のち文春文庫)は、わがままだけど憎めない筋ジストロフィーを抱える鹿野靖明さんとボランティアたちとのありのままの日常を描き、講談社ノンフィクション賞・大宅壮一ノンフィクション賞を受賞し、今もロングセラーとなっています。2018年には、大泉洋さん主演で映画化もされました。また、2016年に起きた津久井やまゆり園事件取材し続け、その背景にあるものは何なのかなど、様々な媒体でお話されています。

その渡辺さんに、障害とは、福祉とは、人と人が支え合うこととは…、取材されてきて思うこと、感じることなどをお話していただきます。質問の時間もありますので、渡辺さんにお聞きしたいことをお寄せいただき、みんなで考えを深めていきたいと思います。



休憩 / 14:45～15:55(10分)

大会総括 / 15:55～16:25(30分)

2日間のまとめとして、実行委員と参加された皆様で総括を行います。

聞き逃した分科会の感想や、改めて考えたいこと…、

参加者の皆様も、質問(チャット)やご感想を通じて深め合いましょう。

閉会式 / 16:25～16:45(20分)

2日目／11月27日（土）のプログラムについて

11月27日（土）の選択プログラムⅠ・Ⅱは実施時間を2つに分け、それぞれ選択制になっています。それぞれの時間帯から1つ選んでご参加ください。

申し込み受付は先着順となり、定員になり次第、締め切らせて頂きます。

プログラムⅠ（9：30～11：30）①から③の中から一つを選択して参加

- ① 特別講座（第1部）／10：00～11：30（90分）：受付開始 9：30～
「これだけは押さえない統合失調症の症状と障害」（定員：なし）
- ② 分科会 A／9：30～11：30（120分）：受付開始 9：00～
「集まれ孤独な新人たち」～ZOOMでつくろう全国の同期～（定員：60名）
- ③ 分科会 B／9：30～11：30（120分）：受付開始 9：00～
「みんなで学ぶ相談支援 in オンライン」～“ソウゾウ”から実践に繋いでいこう!!～（定員：40名）

プログラムⅡ（12：30～14：00）④から⑥の中から一つを選択して参加

- ④ 特別講座（第2部）／12：30～14：00（90分）：受付開始 12：00～
「これだけは押さえない薬物療法と副作用」（定員：なし）
- ⑤ 分科会 C／12：30～14：00（90分）：受付開始 12：00～
「グループホームとは!? オンラインで振り返る」～語り合って学ぼう!! 住まいのアレコレ～（定員：80名）
- ⑥ 分科会 D／12：30～14：00（90分）：受付開始 12：00～
「ピアサポーター最前線」～ピアの力！面白おかしく聞いてみた～（定員：90名）

①④特別講座（第1部・第2部）「症状とお薬について学ぶ」～これだけは押さえておきたいこと～

講師：野口 正行 氏 岡山県精神保健福祉センター所長／岡山県岡山市

司会：小池 秀明／あみ理事（社福）ブローニュの森 多機能型事業所さの／栃木県佐野市

日々の実践の中で、漠然と分かっている気になっているけど、本当はあんまり分かっていないことありませんか？いまさら聞けない色々…抱えていませんか？統合失調症を中心に症状と薬物療法の概要を学ぶこちらの分科会に是非お越し下さい。岡山県精神保健福祉センター所長の野口先生が優しく、分かりやすくレクチャーして下さいます。皆さんからの「知りたいこと」も大募集中です。

●「知りたいこと」大募集中：以下のメールアドレスまでお願いします。

E-mail ▶ ami.taikai2021@gmail.com

「件名」は「野口先生に聞きたいこと」、文字数は200文字以内



②分科会 A「集まれ孤独な新人たち」～ZOOMでつくろう全国の同期～

話題提供者：保坂 優 氏 （社福）のうえい舎 旅人の木／千葉県習志野市

話題提供者：奥地 佑奈 氏（社福）明日葉 まんまる／大阪府守口市

司 会：中澤 木菜里 （一社）ハミングバード グループホームネスト／東京都杉並区

新人って孤独じゃありませんか？同期がいない、事業所同士の繋がりもよく分からず人脈もない、運良く顔見知りができてもコロナで飲み会ができない！それでも続く日々の業務、利用者との関わり、求められる成長、この悩み解決の糸口があるの…？と若手ならではの不安があるのではないのでしょうか。この分科会では現場経験5年未満の方を対象に、先輩の新人だった頃の体験談を聞いたり、グループに分かれてトークテーマを設け、全国の同期たちと日々の悩みや不安、はたまた未来への期待を共有し合ったりしてもらいます。

そして「ああ、悩んでいるのは私だけじゃなかった！」「な～んだ、みんな同じこと思ってるじゃん！」「また明日から頑張ろう」と思えるそんなきっかけ作りにこの分科会を利用してみて下さい。

オンライン開催という特徴を最大限活かし、全国にみなさんの「同期」をつくりましょう！

#同期欲しい#飲み会したい#明日仕事憂鬱#支援者だって人間だもの#それでも頑張ろう同期たち

③分科会 B「みんなで学ぶ相談支援 in オンライン」～“ソウゾウ”から実践に繋いでいこう!!～

話題提供者：内山 祐佳 氏 (一社) かいんどはーと 相談支援はあと／東京都墨田区

話題提供者：田中 隼平 氏 (社福) 風 地域活動支援センター I 型 そよかぜのまち／福岡県福岡市

話題提供者：西沢 富子 氏 (社福) さつき福祉会 生活支援センターあおぞら／大阪府吹田市

司 会：金子 百合子 (社福) しらとり会 地域生活支援センターまほろば／広島県東広島市(あみ理事)

相談支援専門員はソーシャルワーカーでもある。この言葉を聞くと、耳が痛くなる思いになる方もいるのではないのでしょうか。みなさんも理想と現実の狭間で日々葛藤していると思います。

既存の制度やサービスを活用して支援を展開していくことも大切ですが、それ以上に枠組みに縛られることなく自由な発想で支援を展開していくことが相談支援に求められていることであり醍醐味ではないかと思います。そのような想いをみなさんと共有し学べる場があったら面白いだろうなと企画しました。

前半は全国各地で実践している方々にご登壇頂き、様々な実践報告からその想いを語っていただきます。

後半はグループワークを通して参加者の方々と一緒に改めて日々の実践を振り返りながら相談支援について考えたいと思います。参加条件は相談支援専門員として従事されている方ならどなたでも O.K。

一人職場で相談できず孤軍奮闘している方、スキルアップ疲れを感じている方、

自分の立ち位置を再確認したい方には特に参加をオススメします。くれぐれも名刺を忘れずに!!!

⑤ 分科会 C「グループホームとは!? オンラインで振り返る～語り合って、学ぼう!! 住まいのアレコレ～」

話題提供者：米倉 貴之 氏 (社福) そら ゆるり／福岡県福岡市

話題提供者：丸尾 早苗 氏 (社福) 藤沢ひまわり グリーンウェーブ湘南／神奈川県藤沢市

司 会：宅間 みどり (社福) そよ風 SHIZUKU／大阪府大阪市 (あみ理事)

「普通の暮らし」を支えたい。障害がある方も地域の中で普通に暮らしていけるように、ということで始まったグループホーム。でもそれぞれが思う「普通の暮らし」ってなんだろう？

育ってきた環境や年代も違いがある中で、制度は変わり、グループホームも増えています。

一戸建てタイプやアパート型、その形も多様にあるけれど、それぞれの場所で様々な出来事が日々起きているハズ!?

新しい生活様式を求められるコロナ禍だからこそオンラインで繋がりましょう!

そして居住支援の大切さを振り返りつつ、「グループホームあるある」を語り合い、

グループホームについて一緒に考えましょう!

⑥ 分科会 D「ピアサポーター最前線 ～ピアの力! 面白おかしく聞いてみた～」

話題提供者：磯田 重行 氏 日本ピアスタッフ協会会長、(株)リカバリーセンターくるめ／福岡県久留米市

話題提供者：西村 聡彦 氏 日本社会事業大学大学院 博士後期課程

話題提供者：矢部 滋也 氏 (一社) 北海道ピアサポート協会 PEER+design／北海道札幌市

司 会：村上 大作 (一社) てとて グループホームてとて／福岡県糸島市(あみ理事)

令和3年度報酬改定においては、ピアサポート実施加算が創設されたが、全国のいくつかの事業所がこの加算を積極的に活用しているのでしょうか。(満を持して創設されたピア加算。しかしながら国の報酬に対する評価は低く、ピアサポート実施加算の使える範囲と単価はあまりにも狭くかなり低い) 北は北海道、南は福岡、東京の研究者、ピアサポートの最前線で活躍するお三方をお呼びして、ピアサポートの今と実際のお話をしていただき、司会が真面目に楽しくツッコミを入れながらピアサポートに潜って探って、理解していきます。

病気の経験を活かして働くことの強さや長所や弱点を交えながら、ピアサポートを取り入れたい事業者と事業所で働きたいピアの方へのアドバイスとエールを送る 90 分間。

笑いあり涙なしのピア分科会。分科会終了後にはピアサポートの効果と必要性を感じるでしょう。

活動交流会について

「2021 今宵 つながリモート～あなたとみんなとあみライン～」

11月26日（金）18：00～20：00

（受付開始：17：45～）

参加費：

無料です。

全国大会 1 日目恒例の活動交流会。

普段は会えない全国の仲間たちと、

楽しく飲んで食べて過ごすこの時間を、

楽しみにしている方も多いと思います。

交流会場は途中入場・退出、出入り自由の空間です。

メインルーム以外に複数部屋を用意しています。

あの部屋に行ったりこの部屋をのぞいたり、

興味のあるお部屋へ足を延ばしてみてください。

今年は初のオンライン開催。

もちろん、みんなで乾杯もしますので、

ご自身で好きな食べ物・飲み物を

準備してご参加ください。

離れていても、

熱い夜を過ごしましょう！

新しい出会い

新しい試み

せっきくの機会 ですから！

- 1 / 申し込みはオンラインのみとなります。
- 2 / 表示されている申込 QR コード、もしくは URL からお申し込み下さい。

申込 URL はこちら ▶ <https://amionline.site>

申込 URL はあみホームページにも掲載しています。「大会情報」をご覧ください。
(あみホームページ) <https://www.ami.or.jp>



- 3 / **申込受付期間：2021 年 9 月 20 日（月）～11 月 12 日（金）**
注 1）受付期間以外の申し込みはできませんので、ご注意ください。
- 4 / 申し込みにあたって：参加者管理上の理由により、一度に複数人の申し込みはお断りします。
お手数ですが同一事業所で複数人申し込まれる際は、**お一人ずつ手続きをお願いします。**
- 5 / 「申し込み」から「お支払い」の流れは以下の通りです。

参加申込と参加費支払いについては、ウェブショップから参加チケットを購入し、大会に参加して頂く流れとなります。

- ①まず QR コード又は URL から「BASE」のウェブショップに入り、「会員」「非会員」「当事者・学生」のいずれかを選んでください。
- ②次に、「活動交流会」についての質問がありますので、「参加する」「不参加する」のいずれかを選んで下さい。
- ③次に、2 日目午前の「選択プログラムⅠ」についての質問があります。参加希望のプログラムを選んでください。（注：「選択プログラムⅠ及びⅡは、定員になり次第、申込を締め切ります。締め切ったプログラムは「SOLD OUT」と表示が出ますので、ご了承ください）
- ④次に、2 日目午後の「選択プログラムⅡ」についての質問があります。参加希望のプログラムを選んでください。
- ⑤次に、申し込んだプログラム、参加費等の確認画面に移りますので、内容を確認し「カートに入れる」をクリックしてください。
- ⑥次の画面内のカートマークをクリックし、「購入手続きに進む」をクリックして下さい。
- ⑦次に購入方法を選択します。「PAY ID で購入する」「ゲストとして購入する」のいずれかを選択します。

注 2）「PAY ID で購入する」は、今後、あみが実施する研修会や全国大会の申込や、その他 BASE での買い物をする際、今回入力された情報を同じ PAY ID（パスワード）を使うことで、手続きが省略されます。
「ゲストとして購入する」は、今後、BASEを利用する際も再度、情報等を入力するため、その都度、支払い方法等を選ぶことが出来ます。（※BASE に登録済みの方は入力済み画面に移動します）

- ⑧基本情報と支払い方法を入力します。**基本情報を入力する際、福祉事業所の方は入力画面下の「備考欄」に必ず「法人名」「事業所名」を入れてください。**

例：（社福）●●福祉会 ●●作業所

支払いはクレジットカード、銀行振込、コンビニ払いなどから 1 つ選んで、「次へ」をクリックしてください。

- ⑨次に、確認画面が出ます。内容が正しければ「購入」をクリックし入力作業は終了となります。その後、入力されたアドレスに BASE から購入に対するメールが届きます。

- 6 / **次に参加費を、購入日から 1 週間以内にお支払い下さい。**
ここまでで申込終了となります。
参加費を 1 週間以内にお支払い頂かないと申込完了となりませんのでご注意ください。

- 7 / 入金確認後、入力されたアドレスに「参加確認」のメールが届きます。また全国大会 1～3 日前、メールにて「参加用 ZOOM の URL」と「資料 URL」が送られます。

- 8 / 大会終了後に「領収証」を郵便で発送致します。

注 3）参加者の皆さんへ／「メールアドレス」は参加確認等、研修会に関わる通知や研修資料の配信先となります。
資料（データ）が受け取れる端末のアドレスをお願いします。

「備考欄」への「法人名」「事業所名」の入力と 1 週間以内でのお支払いをお忘れないようお願いします

The screenshot shows a web form titled '購入者情報の入力' (Input of purchaser information). It contains fields for Name, Country (Japan), Postal Code, Prefecture (Tokyo), Address, Email, and Phone Number. At the bottom, there is a '備考欄' (Remarks) field with a red dashed box around it, containing the text '(社福)●●福祉会 ●●作業所'. Below the form, there is a checkbox for 'お届け先情報' (Delivery address information) and a note about using the address for delivery.